



北栄町

議会だより

No.
22
平成23年7月



議会報告会

2

町政
ここを問う

6

追跡ふるさと館

15



http://www.e-hokuei.net/mkpage/hyouzi_editor.php?sid=2508



**なぜやるの？
町民運動会**

町民運動会で何がしたいのか意図が見えて来ない。



職員対応が悪い！

事前に電話で来庁の旨を伝えていたのに担当者が不在で、対応した職員に「代わりにやって欲しい」と言ったら、「担当でないから分からない」と断られた。役場職員の来客対応を改善してほしい。

臨時職員の就労条件は？

保育所・幼稚園の産休・育休の補充職員は臨時職員ばかり。町報の職員系統図の「保育士」の一律表記は意図的なのか。給与条件を含め、就労条件を公平に。

利用しやすい窓口一覧が欲しい

高齢者や社会的弱者が利用しやすく見やすい窓口の一覧や、手続き先一覧をつくってほしい。

- 農業委員会
- 農林業関係
- 上下水道
- 町営住宅
- 環境（ごみ等）
- 税に関する証明書の交付

町民課総合窓口でおたずね下さい。

ご意見・提言をいただいた事項は、町長に通知し、改善を促しました。その後の取り組みは、議会だよりでお知らせします。

議会報告会開催！！

「議会基本条例」に基づいて、議会活動に関する情報公開を徹底し、町民のみなさんに議会での出来事をお知らせするため、5月6日に北条改善センター、駅前公民館、社会福祉協議会の3会場で同時開催しました。議会から活動を報告した後に、24人の参加者から活発な意見・提言をいただきました。



北条町議会報告会

こんな意見いただきました

議会だより21号（4月発行）でアンケートを実施しました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。今後とも、よりわかりやすく議会の様子をお伝えしていきます。

問 自由な意見を聞かせたい。

議会だよりは良く工夫されて、編集されていると思う。努力の跡が伺える。

○ ともってもわかりやすく「えっ！こんな初めて」と感じました。

○ なぜこのような立派な（金をかけた）「議会だより」が必要なの？ 誰のための「議会だより」ですか？

○ 議員は、数千人の町民を背負って質問するのだから、角度を変えながら厳しく追及して欲しい。

○ 答弁が説明不足とか、的外れと思われる場面あり。

問 ケーブルテレビでの議会放映をどう思われますか。

○ 一般質問だけ放映すればよい。

○ 大変わかりやすくして良い。どんどんやってほしい。町民にとって情報入手に役立っている。

○ 双方言いっぱなしで表面的なやりとりで終わる、議論の深まりが無く面白味に欠ける。

○ カメラ位置を時々変えてほしい。

○ 内容の一部カットなどせず、全てを放映すべき。議員の評價ができるのも重要な情報源。

○ 議員の懲罰結果報告などがカットされていた。議員の資質を知る大切な内容。カットせず全てを放映してほしい。

問 今後、どのような記事があればよいか。

○ 議員の写真が中心で、文章が少ない。執行部とのやりとりをそのまま記載すれば。

○ 議員の通信簿↓以前に議会での質問回数、発言回数が出ていてわかりやすかった。

○ 体裁だけを気にしているような「議会だより」は必要ない。本町の根本的な課題をもっと掘り下げて。

○ 議案毎の各議員の賛否状況。

○ 徹底した財政再建の議論をして欲しい。そして、議論の内容を記事にして。

自主防災組織が結成しやすいように

昼間は住民の7～8割が不在のため、防災組織が機能しない。昼夜2体制にしたのが現実には不可能。町内63自治会はそれぞれ規模が違う中で、組織が結成しやすい工夫をしてほしい。

庁舎統合、十分な検討を

広域合併など将来的な視野で取り組んでほしい。住民も議論に参加できるようにしてほしい。

がんばれ！青山剛昌ふるさと館

○ 水木しげるロードは新しいものが次々増え、観光客増につながっている。ふるさと館は平面的な展示が多く、1回入ったら次は行かない。企画力の差を感じる。

- 入館料が700円と高い。
- 国道9号線を走っていても看板が目立たない。

○ 役場からの道や駐車場を整備し、点から線の魅力ある地域に。全天候型の迷路をつくるか、アイデアを募るために住民を巻き込んだ委員会を立ち上げては。

○ 町民の盛り上がりとかサポートが全くない。建物壁面などを利用して広告スペースをつくり、企業スポンサー(サポーター)を求めているかどうか。

参加者からの意見提言

6月9日から17日にかけて、6月定例議会が開かれました。町長から提案された補正予算や条例など13議案をはじめ、陳情の審査、議会から発議された5議案などについて、活発な議論が行われました。



教育委員会 指導せよ



北栄スポーツクラブ
経営状況

問 石丸美嗣

会員以外へのスポーツ情報・案内が遅れたのは、周知徹底不足であった。町報などでも周知する。

問 町の体育協会がな

のは難しいのでは。

答 体育指導委員の活動で推進している。

問 教育委員会もス

ポーツクラブへの指導を徹底すべきだ。

答 連携しながら進めている。

安くできないか？

風力発電事業

問 石丸美嗣

高価な望遠カメラが必要か。

答 500ミリの望遠レンズカメラを購入する。今までは、双眼鏡で目視をしていたが、記録が取れないし、ブレる。写真データをメーカーに送付し、対応を決定することに使用する。

問 安価なビデオカメラでも対応できないか。

答 ビデオカメラでも実験して、検討したい。



陳情審査結果

陳情件名	陳情者	採決	委員会意見
世界の前提が変われば、戦争のない世界が実現します。その前提を変える為の決議を求める陳情	荒木 實	不採択 (全会一致)	北栄町議会としての判断する範囲を超えている
保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情	自治労連鳥取県本部	採 択 (全会一致)	国と地方自治体の責任で、保育制度の拡充を求める
新たな保育制度改革の導入に反対し、すべての子どもの健やかな育ちを保障するための意見書提出をもとめる陳情	公的保育制度を守り豊かな保育を求める鳥取県実行委員会	採 択 (全会一致)	国と地方自治体の責任で、保育制度の拡充を求める
中学校で使用する新しい教科書の採択に関する陳情	教科書を考える鳥取県民の会	採 択 (賛12・反2)	公正かつ適切な教科書採択を実施すること

教科書採択の陳情に 反対討論



長谷川昭二

教育基本法は、子どもひとり一人の「人格の完成」をめざす教育から、「国策に従う人間」をつくる教育へと転換された。本陳情は、歴史教科書及び公民教科書の選定について、その教育基本法などの全面改定を受けて、それにもっとも適した教科書の採択を求めている。

道徳心や愛国心は政府が強制するものではなく、思想・良心・内心の自由を侵すおそれがある。

大丈夫か？ 住宅新築資金貸付事業

問 長谷川昭二

今回、専決処分とした理由は、現在の滞納の状況、額、件数、返済見込みは、

答 会計閉鎖が5月31日となっており、歳入が見込めない。住宅新築資金20件、宅地取得資金8件、20名。総額2700万円。

問 失業・倒産・病气・自己破産などの理由により計画通りの回収ができなかった。弁護士と相談しながら回収を進める。

答 今後の欠損処理の可能性は。

問 回収に努力する。

答 回収の可能性がある。

問 5月31日まで回収努力をしてきたからか、形式的に決めたか。

答 5月31日まで回収努力をしてきたため。

問 井上信一郎

22年度だけの滞納額と滞納者は。

答 353万円で、新たな滞納者はない。

問 21年度以前の滞納分の回収金額は。返済の最終年度は。

答 回収金額は204万円で、最終年度は平成32年。

問 21年度の滞納額が、前年度より減っている理由は。

答 鳥取県の貸付助成補助金を活用して、返済に充てた。

問 今後、滞納額が増えることが懸念されるが。

答 借受者との連絡を密にし、分納を協議しながら弁護士とも相談し、回収困難な場合の滞納処理策を講じる。

産業建設 委員会が提案

原発の耐震安全性の再評価と、安全性の向上を求める意見書



東日本大震災により福島原子力発電所が被災し、重大な被害が生じたことから、鳥根原子力発電所をはじめとした全ての原子力発電所の安全性評価について再評価の必要があるとして、政府及び国会に意見書を提出することで可決しました。

この取り組みは、所管の産業建設常任委員会でも検討され、委員会発議されたものです。





長谷川昭二

先が不安だ！

津波への備え

避難を安全に

答「県の見直しをもとに」

長谷川 災害時の安全をどう確保するのは、町政にとっての最重要課題であり、津波への対策を中心に本町の防災計画を見直す必要がある。
そうした観点から、避難所が有効に利用できるように備えることや、浸水して通行不能にならないよう、避難路の確保も必要。

長谷川

災害時の住民の安全



大米庁舎前の案内図

町長

町の災害想定の見直し結果を基に、避難所の適否を再検討したい。避難所自体の設備の充実は大変なので、災害時の通信、食事、保温の方法など避難所運営上の問題点を整理検討したい。
避難ルートは、自主防災組織の訓練で主体的に検討してもらいたい。そのための情報は提供する。避難経路の浸水は、早急な解消は難しいが、河川改良などの排水対策で着実に実施したい。

町政

ここを問う

6月定例議会では10人の議員が13問の一般質問を行った

地域防災

体制は十分か

答「再度検討・見直し」

飯田 ①防災計画の見直しの進捗状況は。
②災害時を想定した体制づくりは。
③自主防災組織づくりと、防災避難訓練の定期的実施への支援は。
④防災教育、訓練などで町民の防災意識を高めるべきだ。
⑤広域消防、町消防、自衛消防の役割分担の明確化で、効率的な防災体制の整備を図るべきだ。
⑥災害時に、役場がどう機能するか、実践的な対策を行い、地域の防災力を高める必要がある。今年、どんな防災訓練をするのか。

意識を高めて



飯田 正征

町長

①県は、今年11月頃をめどに新たな地震津波災害想定案を作成するのことで、それに基づいて本年度中に防災計画の修正をしたい。
②災害対策本部の機能発揮のため、定期的に訓練する。
③自主防災組織の結成を未組織自治会に強く働きかけた。また、防災訓練・研修など支援したい。
④地域の防災訓練、学校、各種団体の会合や町報などを通じて、防災意識の向上を図る。
⑤管轄範囲は決まっている。火災以外の大規模災害時の対応などを考慮した役割分担を各団体の理解を得ながら明確にした。
⑥災害時の町から自治会への情報伝達・指示に基づく避難行動など、実践型の訓練を計画している。



昭和62年 JR由良駅南側の浸水状況

想定外に対処せよ！

対策の見直し

答「避難を最優先」



青亀 恵一

新たな不安が...

青亀

東日本大震災の想定を上回る津波により、未曾有の大被害が発生した。
本町でも、新年の大豪雪、5月の豪雨など、予想を上回る自然気象災害が起きている。
今後、防災対策の見直しが必要である。
また、島根原発に近い本町も、福島原発の

町長

東日本大震災を教訓にした対策は必要だが、それ以上の災害を想定したハード対策は、財政面から困難であり、避難を最優先対策として取り組む必要がある。今後も自主防災組織の育成を中心としていく。いち早い避難のための連絡体制の充実



総合防災訓練

町政インタビュー

長谷川昭二議員・青亀恵一議員

町政インタビュー

飯田正征議員



阪本 和俊

みんなでやらいや

人の憩うまちをめざして

全町公園化を！

答「調査研究する」

阪本 3月定例会で広島県世羅町の全町公園化のまちづくり成功例を参考に、北栄町でも全町公園化の取り組みをすべきと提言した。町長も「積極的に取り組みたい」との答弁だった。平井鳥取県知事の言とおりに、地域の未来は、ただ待っていてはやってこない。今こそ、行政と議会が「みんなでやらいや北栄町、みんなでやらいや町づくり」を目標にアクションを起こすべき。

町長

今後は、6次産業化やグリーンツーリズムと呼ばれる取り組みを本町でも進めなければならぬ。しかし、この取り組みは中心になって積極的に事業を担っていた多く事業者が多く現れてこなくてはいけません。これまで、整備しただけで立ち枯れてしまうケースが多かった。世羅町は、調査団を組んで訪問し、詳しく調査する。その他、農業と観光や商工業を結びつけて地域活性化に成功した事例などを集め、本町で取り組めるものがないか研究したい。



チューリップ園での球根掘り



ふじ園のにぎわい



チューリップ園の「花カフェ」

オールLEDのまち

風車基金で省エネを

答「返済終了時に」



井上信一郎

すべて活用して

井上 平成22年度で3億1600万円ある風力発電基金を財源に、町管理の街路灯をLEDに替え、順次公共施設の照明も切り換えることで電気代はおおよそ半減できる。削減分を財源に、一般住宅のLED化補助事業を実施する。



LED電球



LED照明

「オールLEDのまち北栄町」の誕生である。自然から生まれたエネルギーで得た収益を、その他の自然エネルギーや省エネ事業に活用するという循環をつくるべき。

町長

基金条例により風力発電以外使えない。風車会計は、平成30年度に借入金返済が終了するので、その頃に売電運用益は町民の利益となる政策に使いたい。町管理の防犯灯や公共施設の防犯灯のLED化を年次計画的に実施し、町民には省エネの普及推進を図っていく。

人口増加政策

電気料金半額補助で

答「基金は使えない」

思い切って



前田 栄治

前田

町長は、他町に先駆けた政策で魅力的な町にすれば自然と人口は増えるという方針で目に見える施策をしてこなかった。人口増加対策として、風力発電基金を財源にして、一般家庭の電気の基本料金の半額補助や15歳まで医療費免除など目に見える政策を打ち出しては。

町長

定住促進では「空き家情報バンク」の整備、「北栄町産業振興奨励金」は基準を引き下げ、小規模な事業所にも使いやすい、分かりやすい制度に改正、子育て環境整備では、経済的支援として保育料の1割軽減や、15歳までの医療費助成を、これまで以上に充実していく。基金は、風力発電以外には使用できないが、平成30年頃には町民の利益となる政策に使いたい。



農業政策

町長の戦略は

答「異なった視点と発想に期待」

奥田 国から産
業振興課
長を迎えて1年2ヶ月
が過ぎた。
農業政策が大きく変
わろうとする今、願っ
てもない人事である
が、町のトップには戦
略がないのか、これと
いった成果が見えない。
これまでの成果をど
う評価しているのか、
今後の期待は。



課長がんばれ

奥田 伸行

町長

国の事業で
ある「農地・
水・環境保全向上対策」
に、老朽化した農業用施
設の長寿命化を図るため
の事業が追加された。本
町の農業基盤を守って
いくために、地域協議会・
関係団体と連携してこの
事業に取り組む。
また産業振興課長に
は、異なった視点や発想
により、農業政策の課題
を洗い直し、残された時
間のなかで確かな対応策
を実行していくことを期
待する。



湖南省



友好交流協定調印式

湖南省との友好交流

何を期待するのか

答「話題性・観光振興など」

学ばようとする



青亀 恵一

青亀

滋賀県湖
南市と、
「コナン」の縁にて、
友好交流の動きが進ん
でいる。
相互に訪問団を派遣
し、調査を進めている
状況であるが、その経
緯と今後の展開は、
湖南省との交流に
よって期待することは。



国宝の善水寺（湖南省）

町長

①交流を行
うこと自体
が話題性があり、本町の
PR・観光振興につなが
る。
②福祉、男女共同参画、
行政運営などで本町にな
い事例や参考になる事例
の研究・情報収集につな
がる。
③スポーツや青少年育
成、文化面での町民・市
民の交流。
④災害時の相互応援。
⑤物産のPR、販路拡大、
将来的にはそれぞれの持
ち味を活かした農商工連
携をすすめる、「元気なま
ちづくり」に結びつけた
い。



北栄町図書館の湖南省コーナー

結婚を願う独身者

みんな結婚を

答「さまざまなイベントで」

願いのかなうまち



浜本 武代

浜本

今年度、
専門の担
当職員が配置され、結
婚対策会議で結婚を支
援する17団体のグルー
プも組織され、体制が
整った。
会員登録や、婚活イ
ベント予定、また啓発
内容など現時点での状
況は。
独身者、親御さんへ

の人生設計、覚悟・決
断などの研修、そして
地域で支え一緒に喜び
合えるように。

町長

前向きに自
分の人生を
切り開いていくような意
識改革につながる有効な
研修機会を実施したい。
また、若者が集える場
を多く提供し、参加をきつ
かけにコミュニケーション
能力を高め、自分の魅力
をアピールできる若者が
増えていけば、元気なま
ちづくりにつながってい
くものと期待する。



町政インタビュー

奥田伸行議員・浜本武代議員

町政インタビュー

青亀恵一議員

役場職員 地域活動に

参加しているか？

答「多くの職員が活動」



山下 昭夫

アイデアを出させよ

山下

役場職員が地域の住民として社会貢献活動、地域づくりの活動、自治会・PTA・消防団・NPO法人などの活動にどれくらい参加しているか把握しているか。また、町民の地域活動を応援していく用意があるか。

町長

地域住民として自治会活動に参加し、自主的な地域づくり活動にも積極的に参加するなど、多くの職員が自治会活動、PTA活動、消防団活動、地域での行事、ボランティア活動などに参加している。今後、より一層増えるよう指導していく。町民の自主的な地域づ



天神川一斉清掃

くり活動への参画の支援、まちづくり活動の活性化を促進、地域活動の核となる人材の育成のために、今年度から生涯学習出前講座を推進中。まちづくりに参加したいと思う人の割合を、現状の53%から平成32年度には75%にすべく、努力していく。



雪害松林清掃ボランティア

自治会への交付金

住民が知らない

答「容易に確認できるように指導」



石丸 美嗣

みんなのお金だ

石丸

町から自治会に支払われる交付金は、「自治会の運営や防災活動その他自主的な地域づくり活動」などに対して交付するものであり、そのうち自治会運営交付金は、均等割4万円+世帯数×千円、事務費分千円×世帯数となっている。貴重な財源が交付されているにもかかわらず、地区住民に知られることなく、一部のみに渡っていることも考えられる。少なくとも、自治会の決算・予算書に町からの交付金の収入が記載された資料の提出を求める必要があると考えられる。

町長

交付金は、自治会運営に活用されるのであれば、実際に使うのかといった確認は不要である。しかしながら、自治会運営に活用されたかどうかについての把握は必要であり、それを確認するものとして自治会会計の決算書及び予算書の提出をお願いしている。交付金の収入状況が決算書などで容易に確認できるように各自自治会へお願いしていく。

給食調理の民間委託

その後の検討は！

答「資料を収集集中」



長谷川 昭二

ちょっと待った

長谷川

給食調理の民間委託について、「学校給食センターの統合後の運営状況などを見ながら、調理部門の民間委託を進めるのかどうかを検討する。」ということだったが、検討状況は。また、偽装請負について、どのような基準で検討しているか。

教育委員長

現在は、資料や情報を収集している。どの程度の公費負担部分の経費が削減できるか、安心・安全な給食の提供を保障するために、業者選定の明確な指標となる項目を決定しておくことが重要である。偽装請負にならないように、委託業者において、調理導線表や調理工



給食おいしいね!!

契約上では請負という形を取っているが、その実態は労働者を注文主の管理下へ常駐させ、注文主の指揮命令の下に業務をさせる行為。「労働基準法第6条（中間搾取の排除）」に抵触する。

「偽装請負」とは

追跡 あれからどうなった？

再提出された ふるさと館収支計画



ふるさと館のマリオネット

25年もかけて返済？

3月議会で、青山剛昌ふるさと館の入館者数減による収入不足から借金返済が困難となり、一般会計からふるさと館特別会計へ1億300万円を繰り出すこととした。附帯決議されたことを受け、運営並びに収支の再検討が行われた。計画では、集客促進の取り組みを行いながら、今後25年をかけて一般会計に返済する。

入館者数の再試算

区分	有料入館者数	入館料収入	単年度収支見込み	返済完了見込み
当初	70,000人	3,780万円	700万円	平成38年度
再試算	52,872人	2,746万円	440万円	平成47年度



ふるさと館に再現された青山先生の仕事部屋

新たな展開

収支の見直し

当初計画していた入館者数7万人を、直近1年間の入館者数実績を参考に再試算し、より現実的な返済計画を示した。なお、入館者数の目標は6万人としている。

運営の見直し

○週刊少年サンデー誌面でのイベント記事掲載。

○国際マンガサミットなど県のマンガ王国の取り組みや、中部地域全体での取り組みを活かした集客促進。

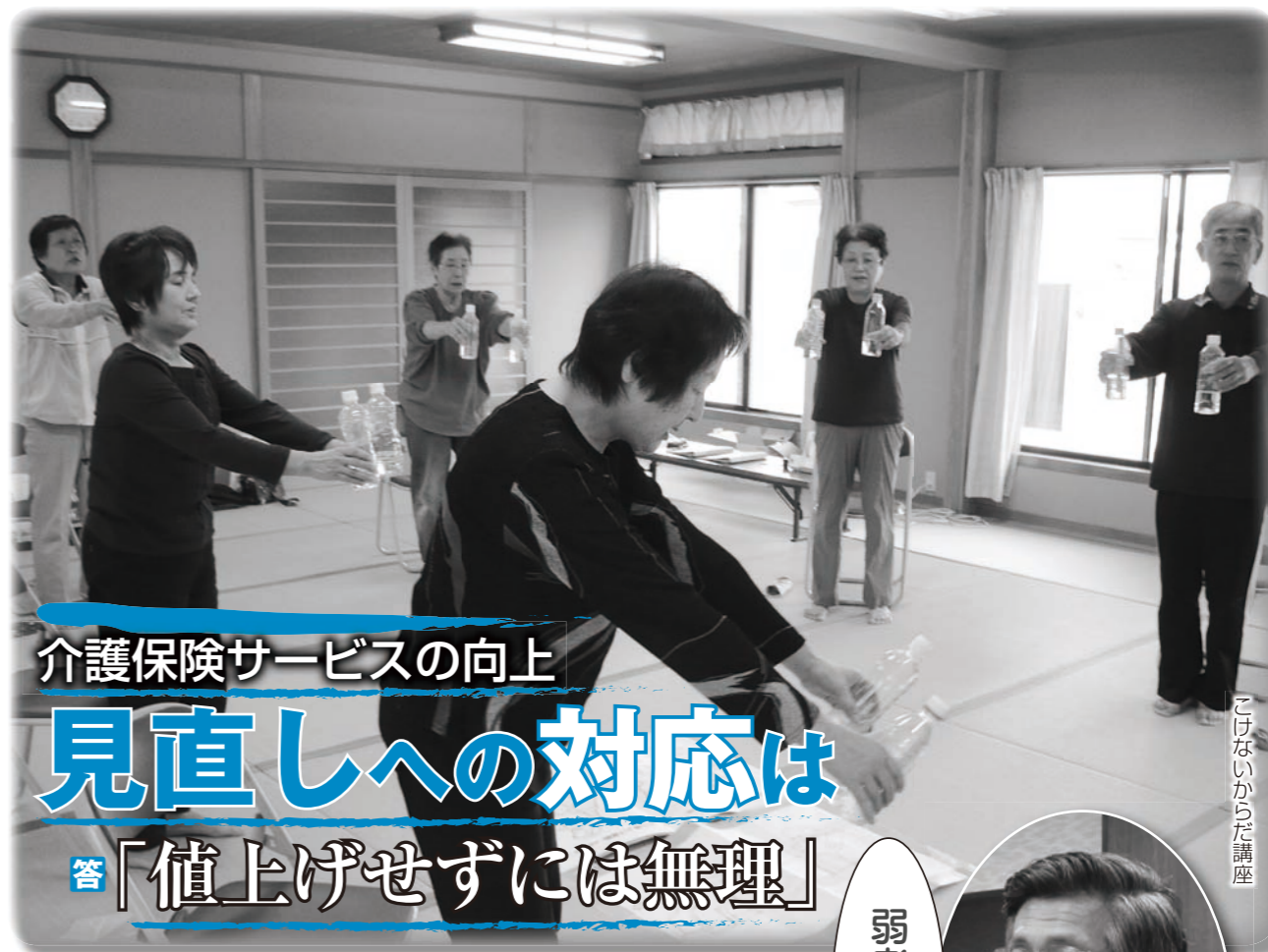
○イベントチラシの手刷りによる費用削減。

○県内機関中心の営業活動に方向転換。

○町内団体とタイアップしたイベントの開催。

○北栄町の観光拠点として、地域に貢献していく。

議会としても、今後の運営状況を注視しながら、ふるさと館がより盛り上がりつついくようイベント参加、PRなど一生懸命協力していきます！



「いけないからだ講座」

介護保険サービスの向上

見直しへの対応は

答「値上げせずには無理」

弱者を守れ



長谷川昭二

長谷川

介護保険法の改定案で「要支援」と認定された多くの高齢者への介護サービスが、市町村独自の判断によって切られる恐れがある。どう対応するのか。「もうこれ以上保険料を引き上げないでほしい、自己負担を心配しないで必要なサービスを受けられるようにしてほしい。」という、被保険者の思いに応える考えはないか。

町長

この法改正では、要支援者が利用できる地域支援事業のメニューも利用可能となり、より充実したサービスが提供できると考えている。本町は要介護認定率が高く、介護保険料も高くなっている。平成22年度は、保険料が不足し1400万円の借り入れを行っている。第5期介護保険事業計画の策定に当たっては、新たな要介護認定者が増えサービス料が増加しないよう、介護予防重視の施策を充実させるしかないと考えている。



敬老会の様子

町政ミミコを問う

長谷川昭二議員



湖南省との友好交流に期待して



情報交換の場に

北栄町自治会長会
会長 山信 幸朝（国坂派）

湖南省市区長会と意見交換を行った。湖南省の自治会加入率は年々低下し、現在76%、そのため加入推進プラン策定に向けてアンケート、まちづくり協議会設立など自治会活性化に向け取り組んでいるとのことだった。北栄町自治会長会のあり方として、行政から一方通行の情報提供だけでなく、自治会同士の情報交換の場として、また自主的に活動していける話し合いの場としたい。

未来へのかけ橋に

北栄町商工会長 山田 準

7月15・16日湖南省商工会へ役員研修に行った。

地域資源という点から観光という線へ、その魅力を広範囲に広げ浸透させていくため特産品の開発は不可欠。取り組みの結果、米に代わる伝承食『いもつぶし』を開発、22年より商品化し、販促やPR活動に取り組んでいる。

今の時代、商工会だけの活動ではおぼつかない。農商工連携を念頭に、行政と一緒に地帯の発展と振興に取り組んでいきたい。

由良川下流からの眺め（瀬戸方面）



次の定例会は9月です。
傍聴・ご意見お待ちしております。

Tel (0858) 37-2445
Fax (0858) 37-5339
E-mail gikai@e-hokuei.net



北栄町議会HP

編集後記

すいか長いも健康マラソン大会では、梅雨空を吹き飛ばすような老若男女の力走に大きな声援が送られました。また、振る舞われたスイカを食べた人たちからは、「甘くておいしい」と感嘆の声が上がっていました。

さて、議会だよりの編集では、議会の様子がきちんと伝わり、町民皆さんの声が反映されているものになっているのか気になるところです。

今回は、議会報告会の様子の特集として取り上げています。貴重なご意見をたくさんいただきました。報告会以外でも、ご意見をお待ちしています。

長谷川昭一

表紙写真

すいかながらもマラソン大会

「7月 855555」

7月の口撮影

DATA

町人口 / 16,019人【男 7,650人・女 8,369人・世帯数 5,192世帯（平成23年6月30日現在）】